

## Closeup 障がい者雇用



### 障がい者雇用のモデルケースとなる取組みを推進し、安心して働き続けられる職場環境をつくります。

百五管理サービス株式会社 代表取締役

森永 豊

百五銀行のグループ会社である百五管理サービス株式会社では、2016年に特例子会社の認定を受け、障がいのある方が多数働いています。10年、20年後を見据え、仕事の開拓、人材育成・能力開発に注力し、県内で障がい者雇用のモデルケースとなるように取り組んでいます。

#### 2016年に特例子会社の認定を取得 障がいのある方が安心して働ける環境を整備

当社は、1985年に、百五銀行の文書・帳票などの保管・管理を行うグループ会社として設立されました。2016年2月に、東海3県に本店所在地がある地方銀行として初めて特例子会社の認定を取得しました。

特例子会社とは、障がい者の雇用の促進および安定を図るため、事業主が障がい者の雇用に特別の配慮をした子会社のことです。当社では、障がい者のための設備としてバリアフリー対応や休憩スペースの確保、送迎バスの運行などを行っています。また、専任の指導員として企業在籍型職場適応援助者（ジョブコーチ）や障害者職業生活相談員を多数配置しています。障がい者は28名（2024年6月1日時点）在籍し、百五銀行グループの3分の

1を占め、法定雇用率の達成に大きく貢献しています。

当社が特例子会社としてスタートした際は、広く認知していただけるように、県庁や労働局などをまわり、当社の取組みを県内の多くの企業に紹介いただきました。2020年12月には、障がい者雇用における優良な事業主として、三重県で初めて「もにす認定」を受けました。

#### 安心して働き続けられる「居場所」と 活躍して輝ける「出番」を提供

当社では、障がいのある社員を「チャレンジド」と呼んでいます。チャレンジドはアメリカで使われるようになった障がい者を表す言葉で、「前向きに挑戦する人」という意味が込められています。

当社は、障がいのある人もない人も差別なく働ける職場環境と、定年まで働き続けられるための人材育成に

力を入れています。障がい者雇用において重要なことは「居場所と出番の提供」と考えています。障がい者が安心して働き続けられる職場環境＝居場所と、自分が活躍でき輝ける場面＝出番を提供することが大切です。また、基本戦略として「チャレンジドが輝ける仕事の創出」「チャレンジドが安心安定して働き続けられる職場環境の整備」「チャレンジドのキャリア形成支援」に取り組んでいます。

チャレンジドの職場は、当社本社と百五銀行岩田本店棟にある岩田棟分室です。本社では、伝票など書類の保管、書類のシュレッダー・廃棄、各支店が必要なパンフレットや伝票などの出庫・配送、事務用のゴム印作製、回収した伝票や管理資料を電子化するイメージファイリングなどの業務を行っています。また、岩田棟分室では名刺や店頭で使うチラシ、研修用資料などの印刷や、パソコンでのデータ入力作業などを行っています。データ入力は、長い時間でも継続して、大量のデータを正確に行うことができます。



そして、SDGs推進の一環として2022年9月に新たに始めたのが、紙のクローズドリサイクルの取組みです。これまで、保管期限が過ぎた書類は廃棄業者に出すところまでを業務としていましたが、廃棄処理されたものを製紙会社でトイレットペーパーに再生し、百五銀行の支店や本部で使用するという仕組みをつくりました。2024年3月には、当社で卒業生が多く働いている三重県内の特別支援学校20校に寄贈し、また、4月からは百五銀行のお客さまへのサービス品としても使ってもらっています。

#### 安心して働き続けられる職場環境へ 課題解決に向けて率先して取り組む

法定雇用率は2024年度に2.3%から2.5%に、2026年7月に2.7%へと段階的に引き上げられます。百五銀行グループ



は2023年6月時点で3.01%と上回っていますが、今後も法定雇用率は上がっていくことが予想され、当社ではチャレンジドの雇用拡大に向けて、採用手段の多様化、新たな業務開発、雇用の定着化策などの検討を進めていきます。

また、特例子会社の課題として、高齢化への対応があります。知的障がいの方は40歳を過ぎると認知度が低下してくる傾向があり、昨日までできた仕事ができなくなるといったことがあります。当社のチャレンジドは大半が20代の方ですが、定年まで働き続けられるように人材育成、能力開発に取り組む、チャレンジドのキャリア形成を支援していきます。

2023年5月に当社が発起人となって立ち上げた「ハートフルネットみえ」は、県内の特例子会社や行政機関に参加していただき、障がい者雇用の促進や雇用ノウハウの向上を図ることを目的に見学会や情報交換会を定期的で開催しており、ネットワークの輪をさらに広げていきたいと考えています。

今後も当社が、百五銀行グループの特例子会社としてリーダーシップを発揮し、地域における障がい者雇用のモデルケースとなるように、率先して取組みを続けていきたいと思えます。

